



たくさんのご応募
ありがとうございました。

連載
第3話

ホンモノガタリ

HONJO × HITO × MONO

本庄だから生まれる

親しみやすい音楽を



huenica (フエニカ)

榎本聖貴さん(左:本庄市出身)、伊藤サチコさん(右:秋田県男鹿市出身)により2012年結成された音楽ユニット。市内の自宅にレコーディング機材を揃え、楽曲製作を行う。

本庄のもの(魅力や資源)を本庄に関わる人に語ってもらう「ホンモノガタリ」。第3話は、音楽ユニットであり、ご夫婦でもあるフエニカのお二人にお話を伺いました。

ふるさとを見つめ直す

「東京に憧れて、一度外に出てもいいと思う。いろいろな世界を見ることで本庄を見つめるきっかけになった」と榎本さんは言います。

フエニカは、東京を拠点に全国各地で年間150本以上のライブを行っていました。各地を回るうちに、東京でなくても自分たちの目指す音楽を作れると感じ、2013年、活動の拠点を東京から榎本さんの故郷である本庄に移しました。

本庄だからできること

「自分たちの音楽のクオリティをあげるために『本庄へ戻ること』を決めた」と話す榎本さん。東京のように時間に追われず、穏や

かに過ごせる生まれ育った本庄の雰囲気や、大切な家族がそばにいる安心感が、フエニカの目指す、親しみやすく触れやすい音楽に近づけさせてくれると言います。「好きな人たちのそばで好きなことができることは幸せ。ふるさとだからできること」と榎本さんは続けます。

本庄に移住してきた伊藤さんは「本庄は東京からも近いので、拠点を移しても不便は感じない。やろうと思えば、なんでもできる」と、本庄の利便性の高さがあれば、やりたいことができる」と話します。

『まちの音楽屋』として

そんな本庄で自分たちの理想の音を追いかけるお二人。今後の展望をお聞きすると「プロを相手にした仕事だけでなく、『まちの音楽屋』として、ライブ等を通じて地域の方に音楽を届け、身近に感じてもらえるような活動をしていきたい」と笑顔で語りました。

発行/本庄市
編集/本庄市役所企画財政部広報課

〒367-8501 埼玉県本庄市本庄3-5-3

☎(0)495-25-1111

ホームページ <http://www.city.honjo.lg.jp/>

※広報ほんじょうは、ホームページでもご覧になれます。

※広報ほんじょうおしらせ版1月15日号はお休みです。

